



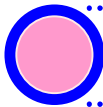
宮崎市立大宮中学校 3年生

景観教室レポート



景観は、海、山、川などの自然環境、建物や道路など目に映るまちの姿だけでなく、雰囲気や文化歴史などの印象を含め、生活空間や環境そのものであり都市の個性や文化水準を表すものです。

大宮中学校では、景観を学ぶことを通して、景観への関心や意識の向上、郷土への愛着を図ることを目的として、平成30年6月から7月にかけて宮崎市景観課と(一社)宮崎県建築士会、地域の方々の協力により、3年生174名を対象とした『景観教室』を計4回行いました。歴史的な建造物や、文化財が残る大宮地区の特徴や雰囲気を感じ、地域の方に親しんでもらえるような通り名を考えました。

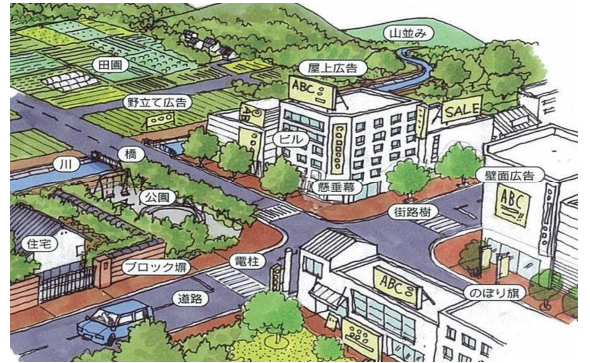


第1回「景観を知る」 6月7日(木) 5・6時間目

■ 景観に関する基本的な学習

前半は「景観とは何か」という内容で、建築士会の工藤さんによる基礎的な授業が行われました。

自然や建物など、国内や世界の景観写真を見ながら、景観の考え方を学び、景観づくりでは「市民・行政・企業」が協力することが大切なことを知りました。



自然・道路 (ワシントンiapーム)



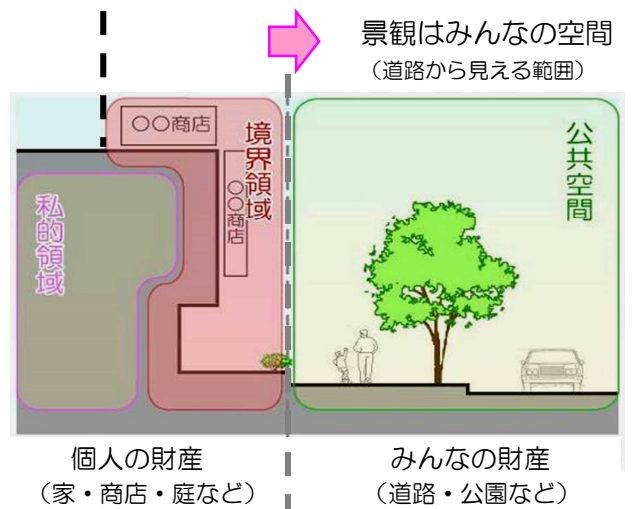
建築物 (宮崎県庁本館)



産業 (田野町にある大根やぐら)

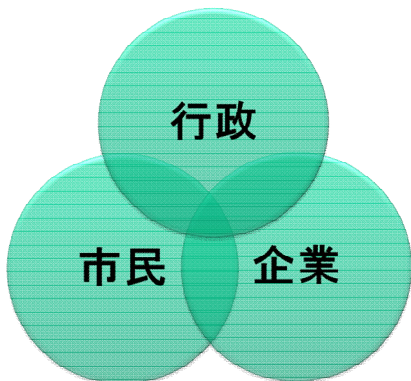


歴史 (日南市 飢肥)



☆☆ 景観学習のポイント ☆☆

- ①景観をつくるもの：自然、建築物、看板、産業、芸術、歴史・・・
- ②景観はみんなの財産(宝物)、みんなの手で作る、守る、育てるもの。



景観はみんなで作るもの・守るもの



講師の工藤さん(建築士会)



みんな真剣に聞いてます。

第3回「景観を考える」

6月21日(木) 5・6時間目

■ 通り名を考えてみよう！

2回目で実際に通りについて調べたあと、それぞれの特徴を踏まえ、どのような通り名がふさわしいかをグループで考えました。様々な特徴があり、まとめるのは大変だったと思いますが、生徒達はいくつもの通り名を考えました。その後、通り名の考察と由来についてグループごとに発表しました。



当日の流れについて確認



通り名を考える



通り名と由来について発表

第4回「景観を表現する」

7月5日(木) 3・4時間目

■ 通り名発表！

グループで考えた通り名を決め、表札を作成しました。実際に生徒達が通りを訪れ、感じたことを通り名に込めています。どれもしっかりと特徴を捉えた素敵な通り名となっています！





各グループで考えた通り名を発表後、通り名の表札と、その由来をパネルにまとめました。
 また、10月20日の文化発表会にてパネルが展示され、ステージでは景観について寸劇を交えて発表
 するなどユニークな発表でした！

☆☆ みんなで記念撮影 ☆☆



■ 生徒の皆さんの感想（一部を紹介します）

- 身近な場所だけれど、知らないところや面白いところを発見できてよかった。自分達で名前をつけることで親近感を感じて覚えやすいし、分かりやすい名前をつけることで、後世にも伝わったら良いなと思った。
- 1つの道でも人によって見方や感じ方が違うし、同じ道も1つもないし、世界にはたくさんの景観があるんだなと思い、興味がわきました。
- 季節で景観も変わってくると思うので季節ごとに比べてみるのも色々な違いが発見できて面白そうだなと思いました。
- 時間を重ねるごとに「こんな所があったんだ」「そんな見方もあるんだ」など、様々な発見をすることができたと同時に、自分の住んでいる大宮と宮崎にとっても興味がわいてきたと思います。
- 道を通ってみたいと分からないこともあり、良い印象を持つことができたので、みんなにも教えてあげたいです。
- 景色も、見る角度・視点を変えることで、全く違った印象を感じることに気がきました。今回の景観教室で学んだことを生かし、自分達の地域の特徴を次の世代へ継承していけたらと思います。

■ 景観教室を終えて

今年、初めて大宮中学校での景観教室をさせていただきました。宮崎市内の中でも特に景観に対する意識の高い地域での開催で、私自身もとても緊張しながらの授業でした。
 全4回の授業を通して、景観は地域の歴史や文化、自然、日々の暮らしの積み重ねでできていることを一緒に学びました。実際にまちを歩き、皆さんの目線で地域の景観を感じとり、「通り名」を提案してもらいました。地域に暮らしている人がいて、いつも通っている道があり、なんでもないと考えている風景には、かならず成り立ちがあります。「通り名」を考えるということは、そうしたコトを、ひもとき、皆さんの感性で表現することでした。
 途中、「通り名」まで提案できるだろうか？と不安もありましたが、最後に皆さんの考えた「通り名」が地図に埋まったときには感動しました。これから、中学を卒業し進学、就職などそれぞれの道を歩む中で、中学時代を過ごしたこの場所をどのように感じていたのか、とても大切な貴重なその瞬間を刻んだ地図になったのではないかと感じました。
 貴重な時間と機会をいただき、ありがとうございました。
 (一社)宮崎県建築士会 工藤 登紀子